

Wharfedale Pro

# VERSADRIVE SC Series

▶ 製品の特徴

この度は Wharfedale Pro 製シグナルプロセッサー VERSADRIVE SC Series をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

Wharfedale Pro「VERSADRIVE SC Serie」は DSP 制御のデジタル・マトリックス・プロセッサーです。入出力は品番に表されており、SC-24 は、2つのアナログ XLR 入力と 4つの XLR アナログ出力を備えています。

最高品質の 24ビット 96kHz AD/DA コンバータを内蔵し、40ビットの内部 DSP プロセッサで処理されます。プロオーディオのあらゆる面を細かく制御することができます。ディレイタイム、コンプレッサー、リミッター、パラメトリックイコライザー、複数のハイパスフィルタとローパスフィルタの選択など、システムが完全にバランスが取れるまでパラメータを調整することができます。



# 安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



## 警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

### 電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。  
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。  
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。  
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。  
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。  
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

### 設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。  
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。  
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する  
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

### 水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。  
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

### 異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



## 注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

### 電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。  
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

### 設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。  
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなる場所、逆に湿度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。  
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。  
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

## 使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。  
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。  
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。  
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。  
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
機器の破損や傷害の原因となります。

※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。

※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。

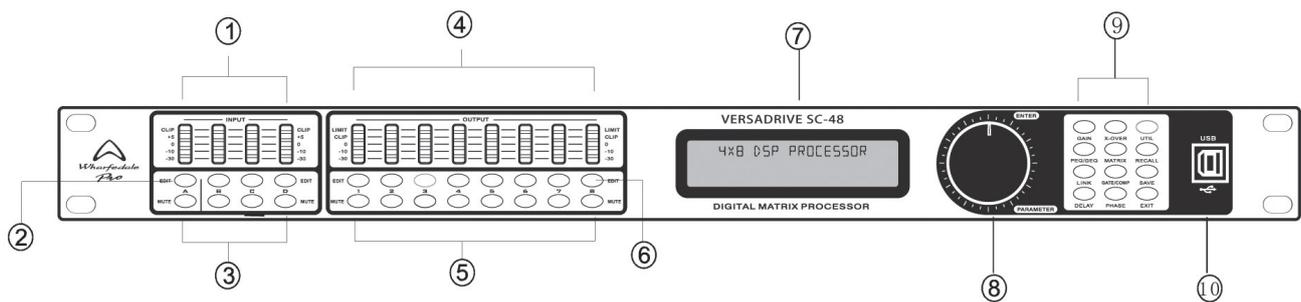
※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。

※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。

※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

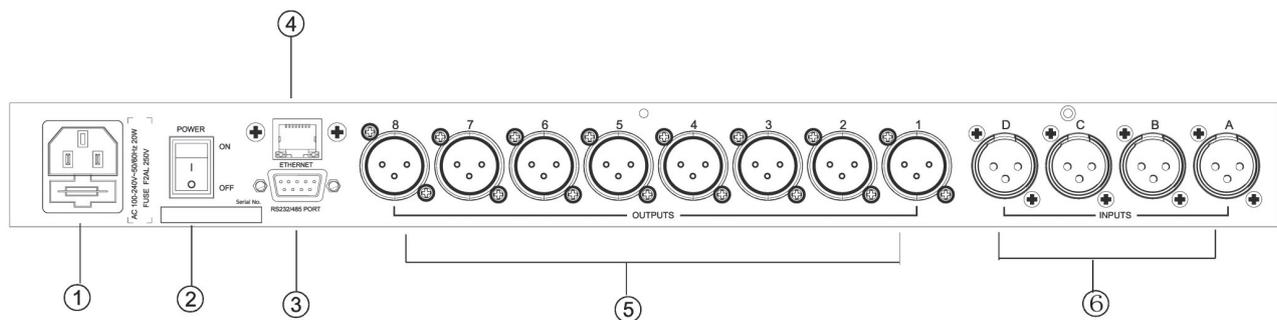
※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

## ▶ フロントパネル 各部の名称



- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>入力レベルインジケータ</b><br/>LEDが現在の入力チャンネルのレベルの状況を示します。</li> <li>2. <b>入力編集キー</b><br/>関連チャンネルを押すと、パラメータが編集キーとLCDに表示されます。</li> <li>3. <b>入力ミュートキー</b><br/>チャンネルをミュートし、もう一度押すと終了します。</li> <li>4. <b>出力レベルインジケータ</b><br/>現在のチャンネル出力レベルとコンプレッサーの状態を示します。</li> <li>5. <b>入力ミュートキー</b><br/>チャンネルをミュートし、もう一度押すと終了します。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6. <b>出力編集キー</b><br/>キーを押して関連するチャンネルを入力すると、編集ステータスがパラメータに表示されます。</li> <li>7. <b>LCD</b><br/>関連する操作パラメータと現在の操作のステータスをすべて表示します。</li> <li>8. <b>パラメータ編集ノブ</b><br/>押してメニュー全体とパラメータ設定を編集します。</li> <li>9. <b>パラメータ編集キー</b><br/>すべてのシステムメニュー / 入力パラメータ / 出力パラメータを選択し、「exit」キーを押して終了します。</li> <li>10. <b>USB</b><br/>PCやセンター制御機器、リモコンとの接続に使用します。</li> </ol> |
|--|--|

## ▶ リアパネル 各部の名称



- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>電源ソケット</b> 95V-250V</li> <li>2. <b>電源スイッチ</b></li> <li>3. <b>RS232/485 インターフェース</b><br/>RS232によるセンター制御 / RS485によるカスケード制御</li> <li>4. <b>Ethernet インターフェース</b><br/>有線又はWIFIにより遠距離制御が可能です</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. <b>出力コネクタ</b><br/>XLRオス バランス出力 x8</li> <li>6. <b>入力コネクタ</b><br/>XLRメス バランス出力 A~D</li> </ol> |
|---|---|

## ▶ 操作ガイド

### 電源投入後

SC-48 V1.0 Wharfedale Pro	ブランド、モデル、バージョンを表示します。
SC-48 FO1 Default Preset	セルフチェック後、ブランド、モデル、現在のユーザープリセットを表示します。

### UTIL キーを使用する設定

ID Number Select ID 1	UTIL キーを押し、まず ID 番号を入力します:ユニットの ID 番号は、カスケード接続の場合、設定スケールが 1-254 のときと異なる必要があります。 (カスケード接続ユニットが 16 または長距離になる場合、RS 485 によって並列に接続する必要があります。)
Manual IP Setting 192.168.1.101	UTIL キーをもう一度押し、IP アドレス設定を入力します。工場出荷時のデフォルトは 192.168.1.101 で、ユーザーは各アプリケーションごとに異なる IP アドレスを設定できます。
Unit Lock Password 1234	UTIL キーを 3 回押し、パスワード設定を入力します。ユーザーは、すべての単語または数字を選択して、希望のパスワードを設定できます。初期パスワードは 1234 です。
Input Source Select Analog Input	UTIL キーを 4 回押し、ピンクノイズ、ホワイトノイズ、20Hz ~ 20kHz から信号ソースを選択します。
Copy channel select InA ▶ InB	UTIL キーを 5 回押し、コピーするチャンネルを選択し入力します。 入力または出力チャンネルは自由にコピーできます。
Delay Units Select ms	UTIL キーを 6 回押し、ユニットのディレイ設定を入力します:ms、m、ft を選択できます。

### RECALL / SAVE キーを使用する設定

Load preset F00 Default Preset	RECALL キーを押し、プリセット転送に入ります。ユーザーは保存された設定 U01 ~ U20 と初期設定 F00 を転送できます。
Store preset U01 Default Preset	SAVE キーを押し、プリセットを保存します。U01 ~ U20 で調整ステータスを保存することができます。

### INPUT EDIT キーを使用する設定

INA GAIN -60.0dB	デフォルトの設定は、-60dB ~ +12dB のゲインになっています。
PEQ:1 F: 50.7 Q:3.00 G: 0.0dB PEAK ON	PEQ / GEQ を押し、PEQ パラメータが設定されます。PEQ の現在のフィルタ番号は 8、F のスケールは 20Hz~20kHz、Q は 0.4-128、G は -12dB ~ +12dB、フィルタのスタイルは Peak ロー・シェルフ、ハイ・シェルフ、ロー・カット、ハイカット、オールパス 1、オールパス 2、バイパス (ON / OFF) です。

## ▶ 操作ガイド

### INPUT EDIT キーを使用する設定

GEQ:1 Freq: 20.0Hz GAIN: 50.0dB	2回"PEQ/GEQ"キーを押し、各入力チャンネルにグラフィックイコライザーのパラメーター設定:31 GEQを入力します。Freqの調整スケールは20Hz～20kHz、GAINの調整スケールは-12dB～+12dBです。
INLINK A: ✓ B: X C: X ID: X	LINKを押し、リンク調整の選択を入力します。現在のチャンネルがINAの場合は、INB、INC、INDチャンネルを選択して同時にパラメーターを調整できます。
INA DELAY 0.000ms	DELAYを押し、ディレイパラメーターの設定を入力します。スケールは0～680mS、0～234m、0～766ftです。
HP: 19.6 BYPASS LP: 20K15 BYPASS	X-OVERを押し、ローパス/ハイパスパラメーター設定に入ります。「HP」のスケールは20Hz～20kHz、「LP」は20Hz～20kHz、ローパス/ハイパスフィルターは-6dB～48dBのButterworth、Bessel、Linkwitz-Rileyの3種です。
GATE T: -90.0 HT: 100 AT: 1ms RT: 100ms	COMP/GATEキーを押し、入力チャンネルのノイズゲートパラメーターを入力します。ノイズゲートのスレッシュホールド "T" スケールは-90～0dB、ホールドタイム "HT" スケールは、10～999ms、アタッチタイム "AT" スケールは1～999ms、リリースタイム "RT" スケールは10～3000msです。
INA PHASE 0	PHASEを押し、位相調整設定を入力します。調整スケールは0～180です。

### OUTPUT EDIT を押して設定可能な項目

OUT1 GAIN +0.0dB	デフォルトの優先オプションは、ゲインで、スケールは-60dB～12dBです。
PEQ: 1 F: 40.2 Q: 3.00 G: 0.0dB PEAK ON	PEQを押し、PEQ PARAMETER SETTINGに入ります。"PEQ"の現在のナンバーは9、各調整スケールは、"F"が20Hz～20kHz、"Q"は0.4～128、"G"は-12dB～+12dBです。 フィルタのスタイルは、ピーク、ローシェルフ、ハイシェルフ、ハイカット、ローカット、オールパス1、オールパス2、バイパス (ON/OFF) があります。
OUTLINK 1: ✓ 2: X 3: X 4: X 5: X 6: X 7: X 8: X	LINKを押し、リンク調整の調整に入ります。現在のチャンネルが"OUT1"の場合、OUT2、OUT3、OUT4、OUT5、OUT6、OUT7、OUTSチャンネルを選択してパラメーターを同時に調整できます。
OUT1 DEALY 0.000ms	DELAYを押し、ディレイパラメーターの設定を入力します。スケールは0～680mS、0～234m、0～766ftです。
HP: 19.6 BYPASS LP: 20K15 BYPASS	X-OVERキーを押し、"HP"のスケールは20Hz～20kHz、"LP"は20Hz～20kHz、ローパス/ハイパスフィルターは-6dB～48dBのButterworth、Bessel、Linkwitz-Rileyの3種です。
OUT1 MATRIX SELECT A: ✓ B: X C: X D: X	MATRIXを押し、マトリックス設定を入力すると、すべての出力チャンネルが1つまたは複数の入力信号を自由に選択できます。

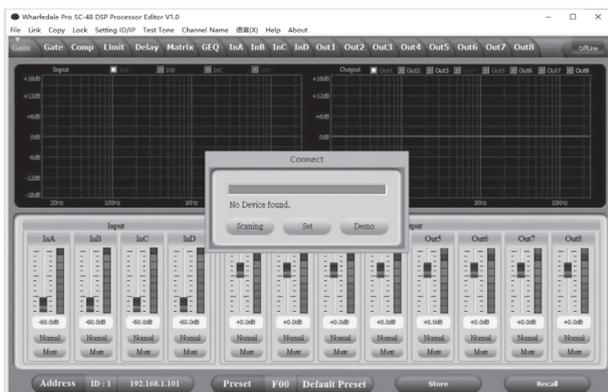
<p>OUT1 A: +0.0 B: +0.0 MIX C: +0.0 D: +0.0</p>	<p>MATRIX を二回押し、出力ゲインのマトリックスに入ります。工場出荷時のデフォルトは 0dB、調整スケールは -60dB ~ 0dB です。</p>
<p>COMP TH: +20.0 R: 1.0 K: 0dB A: 50 RT: 1500</p>	<p>COMP/GATE を押し、コンプレッサー設定に入ります。しきい値のスケールは -60dB- +12dB、起動時間は 1-999ms、接続時間は 10-3000ms、比率は 1 : 1,1 : 10-LIMIT です。</p>
<p>LIMIT TH: +20.0dB AT: 50ms RT: 500ms</p>	<p>COMP/GATE を 2 回押し、ピークリミッターパラメータを入力します。 各調整スケールは、スレッシュホールド "T" が -90dB ~ +20dB、アタッチタイム "AT" は 1 ~ 999ms、リリースタイム "RT" が 10 ~ 3000ms です。</p>
<p>OUT1 PHASE 0</p>	<p>PHASE を押し、位相パラメータを 0 ~ 180 から設定します。</p>



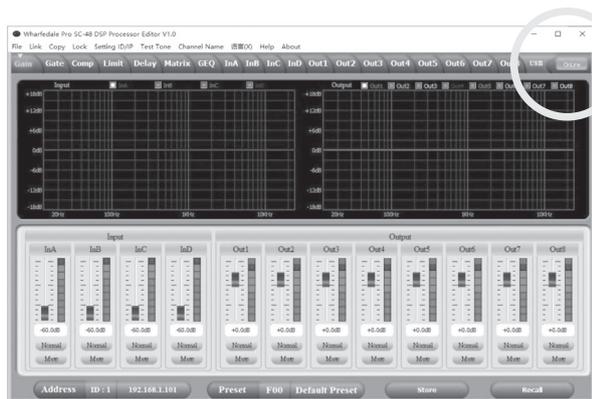
# ソフトウェア

PCソフトウェアは添付の CD に収録されています。ソフトウェアのアップグレードに時間がかかるため、この CD だけで DSP プロセッサを制御してください。

## USB 接続方法



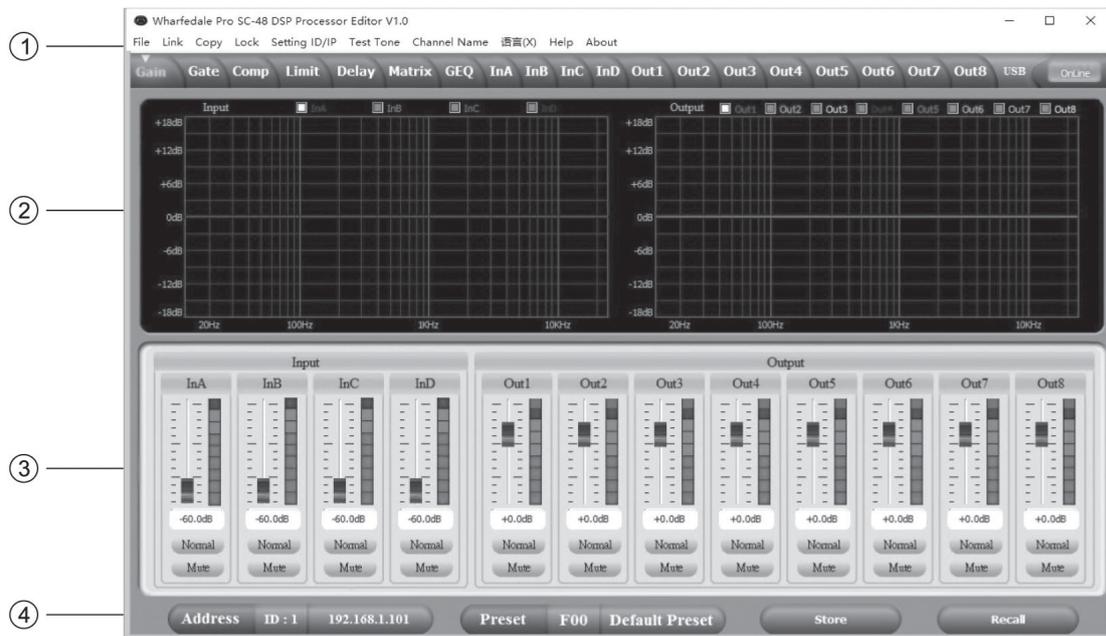
1. CD の PC ソフトウェアをクリックし、次のステップを押して、指示に従ってセットアップを完了し、終了します。



2. USB を使用してプロセッサをコンピュータに接続し、デバイスをオンにした後、コンピューターは新しいハードウェアを自動的に検索し、セットアップ中に新しいハードウェアが表示されます。  
注：ハードウェアのセットアップ終了後に使用することができます。
3. ソフトウェア、PC ソフトウェアは USB を見つけてデバイスを接続し、その後、オンラインキーが右上隅の緑色に変わり、「オンライン」と表示されたら、ソフトウェアを制御してプロセッサを操作し、終了する前に「オンライン」ボタンをクリックします。

## ソフトウェアの特徴

## ボリュームコントロール



## ①メニュー

File	プリセットパラメーターを開いて保存し、データ全体をコンピュータにアップロードしてデバイスにダウンロードします。
Link	入力および出力チャンネルは、すべてのパラメーターを自由に調整し設定することができます。
Copy	入力チャンネルと出力チャンネルの間で自由にパラメーターをコピーできます。
Lock	デバイスの安全を確保するためにパネルのパスワードを設定します。
Setting ID/IP	別の ID を設定して 254 以上のデバイスをカスケード接続するには、長距離ワイヤレス WIFI コントロールの ID / IP アドレスを設定します。
Test Tone	ピンクノイズ、ホワイトノイズとサイン波を出力する信号ジェネレーターを搭載しています。
Channel Name	全チャンネル名を変更することができます。
Language	中国語と英語のメニューに切り替えることができます。
Help	RS232 制御プロトコルコードが参照できます。

## ②スペクトルエリア

入力と出力チャンネルを示す PEQ と位相を自由に選択できます

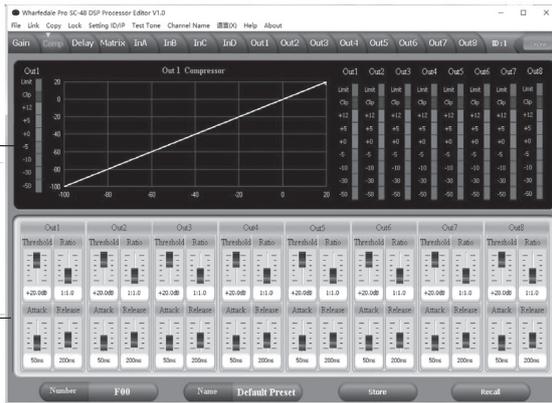
## ③ボリューム調整エリア

すべての出入力チャンネルのゲイン、位相、ミュート制御ができます。

## ④プリセットオペレーションエリア

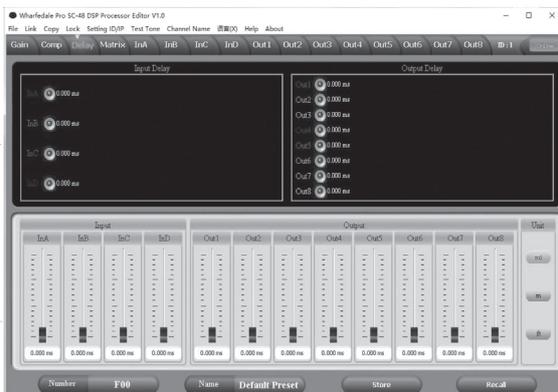
プリセットパラメータを保存または変換し、現在のプリセットパラメータステータスを表示します。

## ノイズゲート



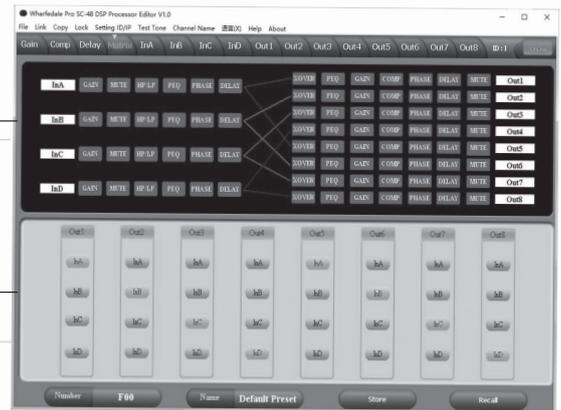
- ① 現在のノイズ・ゲート・ステータス・カーブと入力チャンネル・レベル・インジケータを表示します。
- ② すべての入力チャンネルノイズゲートパラメータを設定することができます。ノイズゲートのスレッシュホールド (-60 ~ 0dB)、アタックタイム (1 ~ 999ms)、ホールドタイム (10 ~ 999ms)、リリースタイム (10 ~ 3000ms)

## コンプレッサー



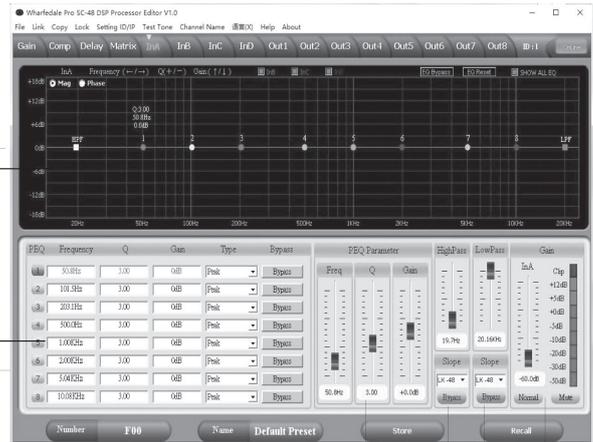
- ① すべてのチャンネルのコンプレッサーステータス、レベルインジケータ、およびインプレッションステータスを表示します。
- ② 出力チャンネルの全コンプレッションパラメータを設定します。コンプレッション範囲は -60dB ~ +20dB、ソフトニー調整は OdB ~ +12dB、レートは 1 : 1、1:10、LIMIT、スタートタイムは 1~999ms、リカバリータイムは 10~3000ms です。

## リミッター



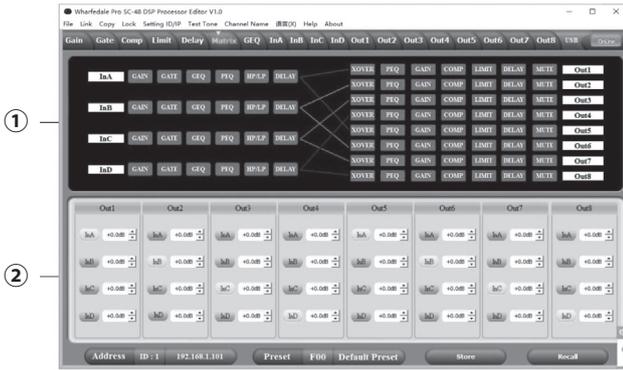
- ① コンプレッション状態、レベルインジケータを表示します
- ② 全体のコンプレッションパラメータを設定します。f + 20dB、ソフトニー調整は OdB ~ +12、タイムは 10-3000ms です。

## ディレイ



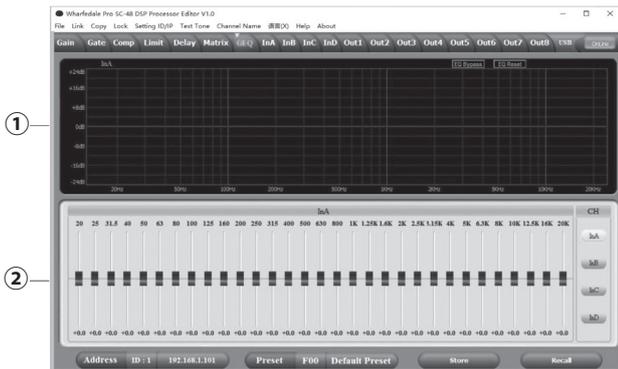
- ① チャンネルのディレイパラメータを表示します。
- ② すべてのチャンネルのディレイパラメータを調整できます。スケールは 0 ~ 680ms です。ミリ秒、メートル、フィートの変換単位があります。

## マトリックス



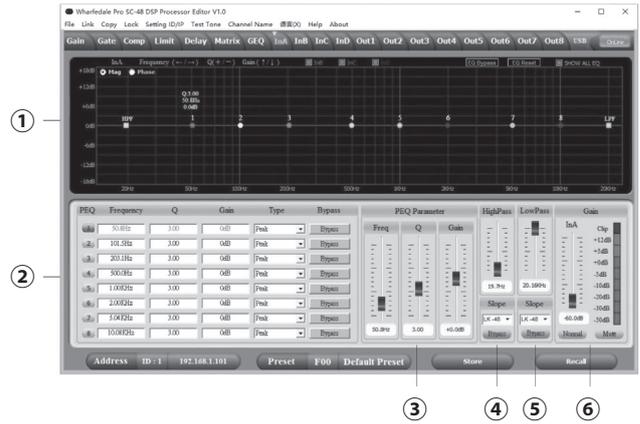
- ① デバイスの接続状態が表示され、四角をクリックすることで、関連するチャンネルを入力および編集することができ、すべてのチャンネル名が変更可能です。
- ② すべての出力チャンネルは任意の入力チャンネルを選択でき、各ルートチャンネルの音量は単独で設定できます。

## GEQ インターフェース



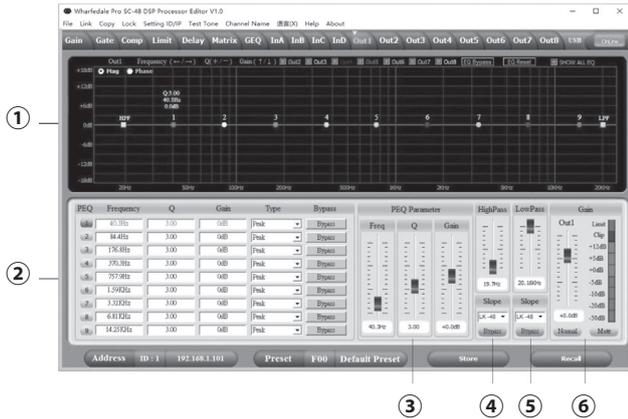
- ① 現在のチャンネルの GEO カーブ状態を表示します。プッシュロッド上でマウスピッチングを行うと、GEO カーブのポイントにパラメーターが表示されます。
- ② 右の INA、INB、INC、IND キーを選択すると、現在のチャンネルの 31 セグメントグラフィックイコライザのパラメータを調整でき、別の入力チャンネルのインターフェイスを入力することができます。

## 入力インターフェース



- ① "Mag" インターフェイスを選択すると、入力チャンネルの PEQ、ハイカット、ローカット、"位相" インターフェイスを選択することができます。現在の位相チャンネルを調整します。また、非現行の PEQ と位相曲線を同期して表示することもできます。
- ② 調整可能な Gain、ミュート、Q、フリケンシー、すべての PEQ タイプ、バイパスキーはオプションです。PEQ スタイルを選択することができます (バランス、ハイシェルフ、ローシェルフ、ハイカット、ローカット、位相 180°、位相 360°。)
- ③ ゲイン、Q、フリケンシーはパターで調整することができ、キーボードの UP、DOWN、LEFT、RIGHT キーを押すことでコントロールできます。
- ④ ローカット周波数 20HZ ~ 20KHZ が調整可能でき、-6dB ~ 48dB 間で勾配レートを選択することができます (ButterNorth, Wesel, Linkwitz-Riley)
- ⑤ ハイカット周波数 20HZ ~ 20KHZ が調整可能でき、6dB ~ 48dB 間で勾配レートを選択することができます (ButterNorth, Wesel, Linkwitz-Riley)
- ⑥ 入力チャンネルのゲイン、ミュート、フェーズは、レベル表示ライトと同じように、別々に制御することができます。

## 出カインターフェース

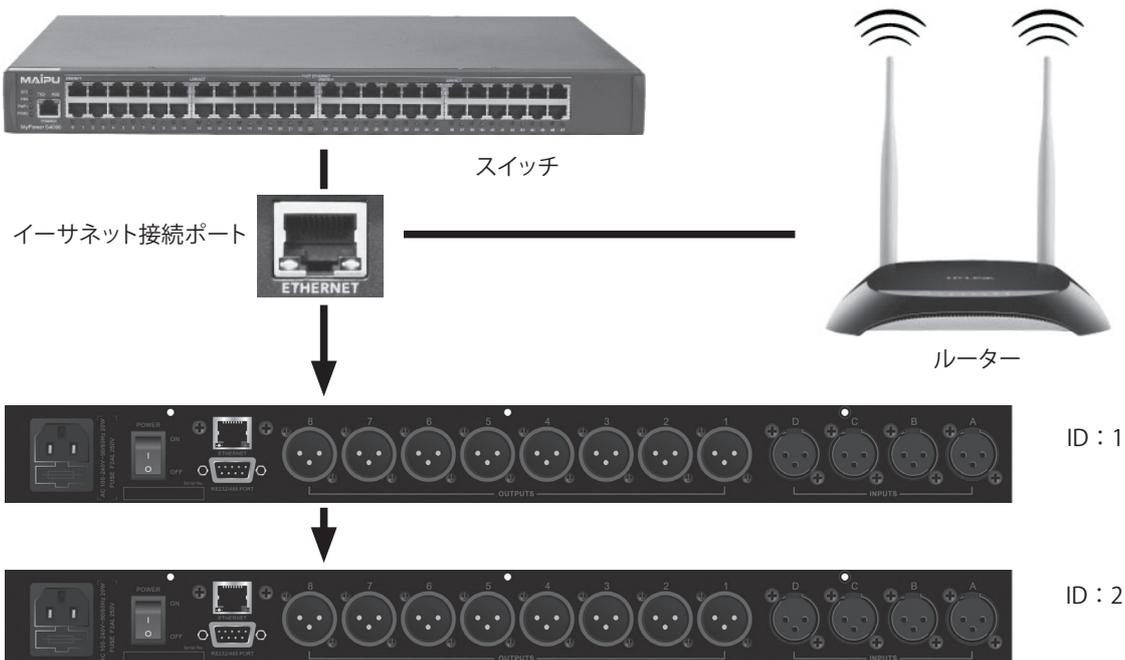


- ① "Mag" インターフェイスを選択すると、入力チャンネルの PEQ、ハイカット、ローカット、"位相" インターフェイスを選択することができます。現在の位相チャンネルを調整します。また、非現行の PEQ と位相曲線を同期して表示することもできます。
- ② 調整可能な Gain、ミュート、Q、フリケンシー、すべての PEQ タイプ、バイパスキーはオプションです。PEQ スタイルを選択することができます (バランス、ハイシェルフ、ローシェルフ、ハイカット、ローカット、位相 180°、位相 360°。)
- ③ ゲイン、Q、フリケンシーはボタンで調整することができ、キーボードの UP、DOWN、LEFT、RIGHT キーを押すことでコントロールできます。
- ④ ローカット周波数 20HZ ~ 20KHZ が調整可能でき、-6dB ~ 48dB 間で勾配レートを選擇することができます (ButterNorth, Wesel, Linkwitz-Riley)
- ⑤ ハイカット周波数 20HZ ~ 20KHZ が調整可能でき、6dB ~ 48dB 間で勾配レートを選擇することができます (ButterNorth, Wesel, Linkwitz-Riley)
- ⑥ 入力チャンネルのゲイン、ミュート、フェーズは、レベル表示ライトと同じように、別々に制御することができます。

## リアパネル 制御ポート端子

### ① イーサネット接続ポート

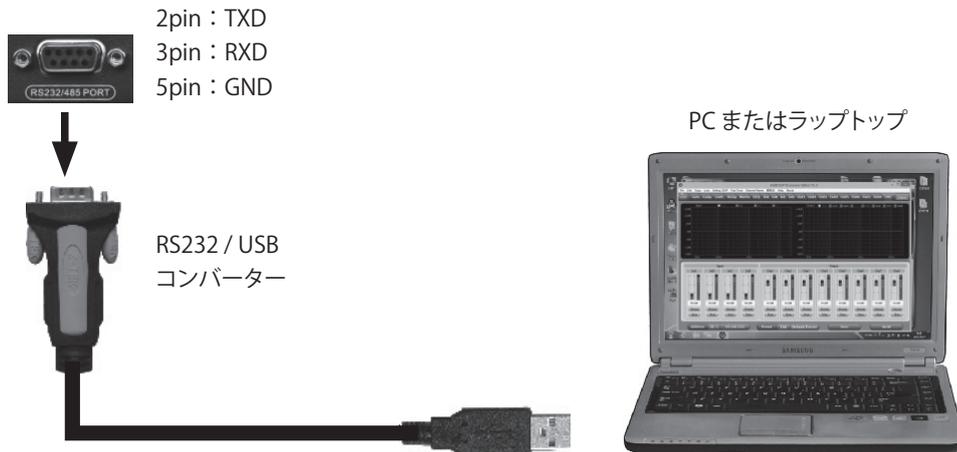
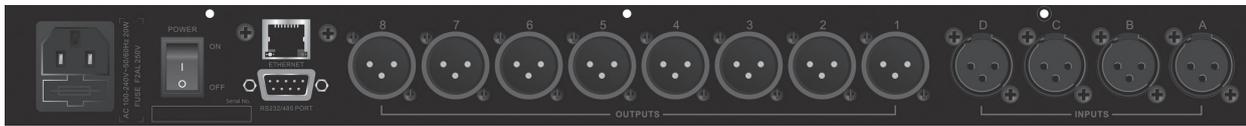
コンピュータを有線で接続するか、スイッチで複数のデバイスを接続するか、ルーターで WIFI を使用して制御することができますが、デバイスごとに異なる IP アドレスと ID コードを設定する必要があります。IP アドレスの競合で正常に接続することができなくなります。



## リアパネル 制御ポート端子

### ② RS232 接続ポート

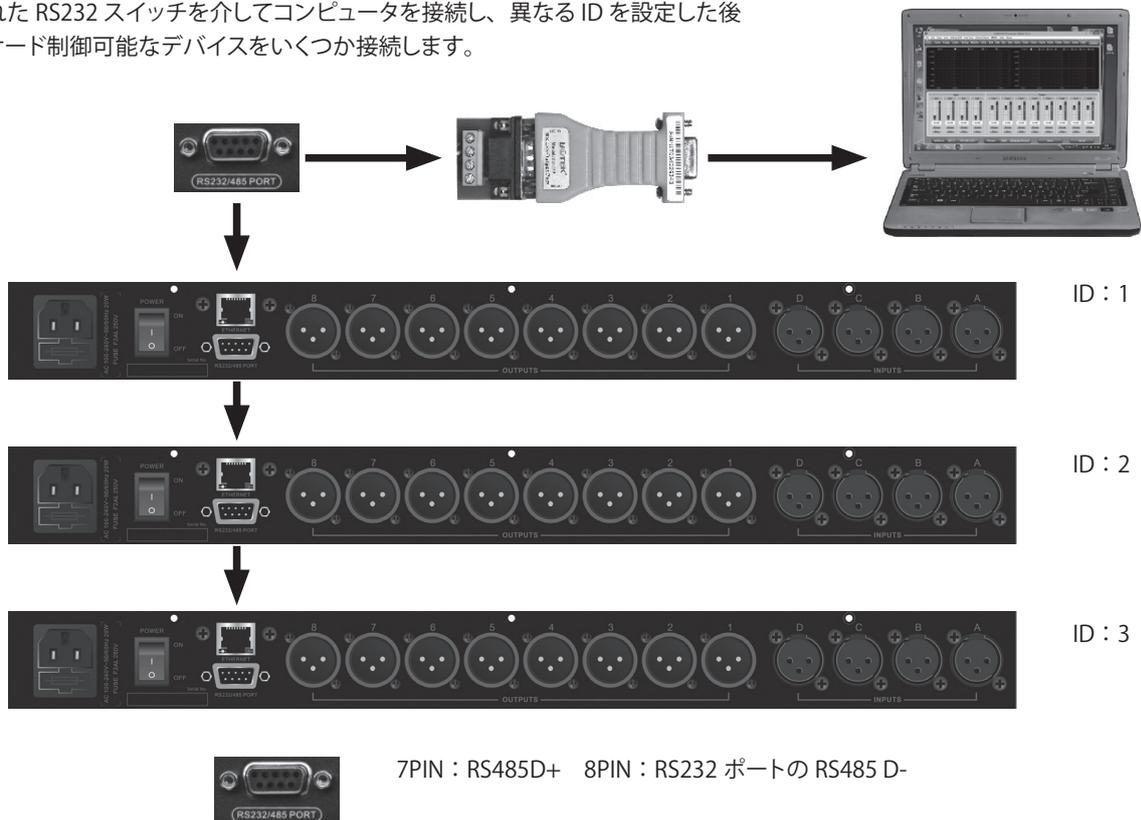
RS232 ポートを介して PC に接続します。



### ③ RS485 カスケード制御ポート

複数のデバイスを RS485 で接続すると、別々の ID を選択して別々に制御できます。

RS232 ポートの 7PIN と 8PIN をカスケード接続して複数のデバイスを接続し、RS485 変換された RS232 スイッチを介してコンピュータを接続し、異なる ID を設定した後にカスケード制御可能なデバイスをいくつか接続します。



## 拡張リモートコントロールプロトコル

### ① 制御パッケージフォーマット

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	Data1	Data2	Data3	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0x41~0x4A	0x??	0x??	0x??	0x7D	0x7B

### ② コマンド詳細

#### (1) ゲインコントロール (0x41)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	In/Out	Channel	+/-	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x41	In:0 Out:1	0~3	+:0, -:1	0x7D	0x7B

例 (入力チャンネル 1 のゲインを上げる) : 7B7D0140000007D7B

#### (2) ゲインコントロール (0x42)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	In/Out	Channel	No / Yes	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x42	In:0 Out:1	0~3	No:0, Yes:1	0x7D	0x7B

例 (入力チャンネル 1 ミュート) : 7B7D01420000017D7B

#### (3) ロードプリセットコントロール (0x43)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	Factory/User	Preset	0 x30	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x43	F:0 U:1	0~31	0	0x7D	0x7B

例 (ユーザプリセット U00 を呼び出す) : 7B7D01430100007D7B

#### (4) 入力ボリュームコントロール (0x44)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	Channel	HI-VOL	LO-VOL	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x44	00 ~07	0x??	0x??	0x7D	0x7B

例 (InA volme + 0.0dB) : 7B7D014400011877D7B

#### (5) 入力ボリュームコントロール (0x45)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	Channel	HI-VOL	LO-VOL	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x45	00 ~07	0x??	0x??	0x7D	0x7B

例 (Out2 volme - 3.0dB) : 7B7D01450100FA7D7B

## (6) ゲインを取得 (0 x 48)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	In / Out	Channel	0 x 30	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x48	In:0 Out:1	0~3	0	0x7D	0x7B

MCU Return : 0 x00 ~ 0 x90 = - 60dB~+12dB, 0.5dB /Step

例 (入力チャンネル 1 のゲインパラメーターを読み込む) : 7B7D01480000007D7B

## (7) ミュートを取得 (0 x 49)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	In / Out	Channel	0 x 30	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x49	In:0 Out:1	0~3	0	0x7D	0x7B

MCU Return : 0 x00 または 0 x01 = Un-Mute / Mute

例 (入力チャンネル 1 のミュートパラメーターを読み込む) : 7B7D01490000007D7B

## (8) プリセットを取得 (0 x 4A)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	DLE	STX	Device Address	CMD	0 x30	0 x30	0 x 30	STX	DLE
Packet	0x7B	07xD	1~254	0 x4A	0	0	0	0x7D	0x7B

MCU Return : 0 x00 ~ 0 x32 = 0 : F00 , 1 ~ 32 : U00 ~ U31

例 (プリセットパラメーターを読み込む) : 7B7D014A0000007D7B

通信パラメーター	1 秒あたりのビット数	115200	Stop bits	1
	Data bits	8	Step	>=20ms
	Parity	None	ID	1

## ▶ スペック

システム特徴	周波数応答	20Hz~20kHz , -0.3dBu
	S/N 比	>115dBu
	歪 (THD)	<0.005 at 1kHz (0dBu)
	クロストーク	<100dB フルスケール以下
入力セクション	タイプ	バランス XLR
	最大入力レベル	+18dBu
	インピーダンス	ステレオ：1M / $\Omega$ , モノラル：500k $\Omega$
出力セクション	タイプ	バランス XLR
	最大出力レベル	ステレオ：1M / $\Omega$ , モノラル：500k $\Omega$
	インピーダンス	<500 $\Omega$
デジタルプロセッシング	24bit シグマデルタコンバーター	
	96kHz サンプリングレート	
ディスプレイ	20x2LCD ディスプレイ パラメーター設定とファンクション選択用	
寸法 / 重量	L480 x W245 x H45 mm / 2.88kg	
付属	CD(PC ソフトウェア, ユーザーマニュアル) USB コード、電源コード	

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限公司

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24